

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--


複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん かんさいふいはーもにーかんげんがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団		https://kansaiphil.jp/
代表者職・氏名	理事長 井上礼之		
制作団体所在地	〒 571-0030	最寄り駅(バス停)	京阪「古川橋」駅
	大阪府門真市末広町31-8 サンコオア第3ビル6階		
電話番号	06-6115-9911		
ふりがな 公演団体名	かんさいふいはーもにーかんげんがくだん		団体ウェブサイトURL
	関西フィルハーモニー管弦楽団		https://kansaiphil.jp/
代表者職・氏名	理事長 井上礼之		
公演団体所在地	〒 571-0030	最寄り駅(バス停)	京阪「古川橋」駅
	大阪府門真市末広町31-8 サンコオア第3ビル6階		
制作団体 設立年月	2017年4月 ※公益財団法人移行のための一般財団法人設立年月であり、楽団発足は1970年。		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長1名 理事13名 評議員9名 監事1名 専務理事1名 楽団長1名(常務理事兼任) 事務局長1名 営業推進部長1名		「楽団員」特別契約者7名 一般楽団員48名 (一般楽団員は公募しオーディションにより採用) 「事務局員9名」公募により選抜
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名	森岡佐和
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	松井清悟
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	s.morioka@kansaiphil.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1970年: ヴィエール室内合奏団として発足 1982年: 関西フィルハーモニー管弦楽団と改組 2003年: 特定非営利活動(NPO)法人化 2007年: 正指揮者・藤岡幸夫が首席指揮者に就任 2008年: 首席客演指揮者にオーギュスタン・デュメイが就任 2009年: 初の単独主催による東京公演(サントリーホール)を開催 2011年: オーギュスタン・デュメイが当楽団史上初の音楽監督に就任。 常任指揮者・故飯守泰次郎が桂冠名誉指揮者に就任。 2014年: 認定NPO法人化 2015年: 音楽監督デュメイのもとスイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初の ヨーロッパツアーを開催。東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を締結。 2018年: 公益財団法人化 2020年: 門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を締結 2023年: 10月、音楽監督デュメイと共にベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る楽団2度目の ヨーロッパツアーを予定。</p>	
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>●過去8年間の学校公演実績: 2016年27回、2017年15回、2018年19回、2019年21回、2020年20回、2021年度25回、2022年度16回、 2023年度15回(2023年9月時点の予定)。 ●ワークショップなどの実績: 2001年8月に日本オーケストラ連盟と共催で開催。2008年度に日本交響楽振興財団・奈良市文化振興セ ンター主催の小学校における音楽教育プログラムとオーケストラ公演を実施(09年度から一般財団法人奈 良市総合財団主催で実施)。2009～2011年度鳥取県主催ワークショップを実施。2011年度より、日本交響 楽振興財団・姫路市文化国際交流財団主催の小学校における音楽教育プログラムで、ワークショップ(計 20回)とオーケストラ公演を開催。2015年度は加東市教育委員会主催のワークショップを、市内小学校計 11校で実施。他、青少年との共演、クリニック等定期的に開催(年間20～30回程度、大阪府、兵庫県、滋賀 県、など各地で開催)。 ●2015年度から東大阪市教育局主催の文化芸術推進事業として、東大阪市内の中学校・高等学校 の音楽クラブでの訪問指導を行っている。2023年までの9年間で延べ76校での実施。</p>	
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>2005年度: 広島県立盲学校 2007年度: 大阪市立西淀川養護学校、大阪市立思斉養護学校、奈良県立明日香養護学校、 奈良県立奈良養護学校 2009年度: 滋賀県立長浜養護学校 2012年度: 富山県立しらとり支援学校、京都市立鳴滝総合支援学校 2014年度: 香川県立香川丸亀養護学校、高知県立高知若草養護学校 2016年度: 宮崎県立みやざき中央支援学校 2018年度: 佐賀県立中原特別支援学校 2020年度: 滋賀県立三雲養護学校</p> <div style="text-align: right;"> <p>公開資料</p>  </div>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/playlist?list=PLujlmXiVwZSN6-UCthFVcTNfYPkbSUCKS</p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>	<p> </p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	「オーケストラってワクワクする！」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①アンダーソン:舞踏会の美女 ②♪弦楽器の紹介 モーツァルト:「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章 ③♪木管楽器の紹介 チャイコフスキー:バレエ「白鳥の湖」より「4羽の白鳥の踊り」 ④♪詩の朗読と共演～オーケストラと詩のコラボレーション～ グリーク:「ペール・ギュント」第1組曲より「朝」 ⑤♪ハープの紹介 チャイコフスキー:バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 《休憩15分》 ⑥♪金管楽器の紹介 コーブランド:市民のためのファンファーレ ⑦【小学生向けプログラム】選択A♪ボディ・パーカッション～体を使ってオーケストラと共演しよう～ ピアソン:ヒップリップスⅡ 選択B♪一緒に奏でよう～オーケストラと共演しよう～各校による(吹奏楽・歌・リコーダー・和太鼓など) 【中学生向けプログラム】選択A♪指揮者体験コーナー～あなたも指揮者になろう!～ プラームス:ハンガリー舞曲第5番 選択B♪一緒に奏でよう!～各校による(吹奏楽・歌・リコーダー・和太鼓など) ⑧マスカーニ:歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「間奏曲」 ⑨♪交響曲を聴いてみよう! チャイコフスキー:交響曲第4番より「第4楽章」 ⑩♪アンコール ありがとうを込めて共演～校歌をオーケストラと歌おう!～各学校校歌</p>		
	公演時間	90	分
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 楽曲
	該当事項がある場合	権利者名 毎曲ごとに異なる	許諾確認状況 採択後手続き予定
演目概要	教科書で学ぶような、本物のクラシックのオーケストラの名曲を子どもたちに届けたい!という思いの演目です。敷居が高いな、退屈だなと感じさせないよう、様々な形での共演を交えながら演奏会と一緒に作ることで、「オーケストラってワクワクする!」と児童・生徒の興味を最後まで維持する工夫を設けました。中でも「詩」との共演など、予習の段階で音楽から様々な想像力を引き出すことにより、多角的な総合的教育として音楽に触れ、児童・生徒の記憶に残る時間を共に創り上げたいという企画です。		
演目選択理由	明るく華やかな関西フィルのテーマソングとも言える曲で幕開けをし、オーケストラに興味を持てるよう、名曲を通して各楽器の個性が分かる楽曲②③⑤⑥を組み込みました。 ④では、音楽から想像力を膨らませ、「朝」をテーマにした詩や絵を児童・生徒に事前に用意してもらい、当日それらがオーケストラと一つの作品となる喜びを体感してもらいます。その他の体験型プログラム⑦⑩も、各学校の特色を生かし、客席との一体感をより高め、一緒に創り上げることで忘れられない公演を実現します。⑥は四方から金管楽器を鳴り響かせることにより、児童・生徒を響きで包み込み、金管楽器の迫力を届けます。⑨は、オーケストラの醍醐味である交響曲で締めくくります。アンコールでは各学校の校歌を共演します。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	「詩との共演」は、事前に曲を聴いた上で「朝」をテーマに児童・生徒に詩を考えてもらい、当日オーケストラの演奏をバックに1分ほどの詩を生徒に読み上げてもらいます。学校によっては、曲からイメージする絵を描いてもらい、プロジェクターで流したり、貼りだしたりする等も提案いたします。「ボディパーカッション」では、グループに分かれてリズムを叩き、動きの違いを楽しみながら、オーケストラの演奏と一緒に一つの音楽を創り上げます。「指揮者コーナー」では、まずは模範演奏を聴いてもらい指揮者によるレクチャーを行った後、選ばれた児童・生徒(2～3名程度)に自らの感性で指揮をしてもらいます。その他の選択共演は、学校の特色に応じて様々な形での共演を提案します。コロナ禍で実現し難かった吹奏楽や歌との共演も積極的にを行い、音を奏でる、音を合わせる喜びを体感してもらいます。		
出演者	指揮者:横山奏、松元宏康、松村秀明(予定) 管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団(編成10型2管) ～楽団プロフィール～ 1970年に発足した関西を代表するオーケストラ。2018年公益財団法人化。 世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが2011年より音楽監督に就任。 首席指揮者の藤岡幸夫、首席客演指揮者の鈴木優人とともに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開している。故飯守泰次郎(2023年8月没)は2001年より常任指揮者、2011年より桂冠名誉指揮者を務めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30～)に藤岡幸夫と共に出演中。2020年には楽団創立50周年を迎えた。 ※メンバー表別添あり		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 63 名 スタッフ: 8 名 合計: 71 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 9 m 台数: 2 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	9時～10時30分 (GP.11:30～12:00など)	13時30分～15時	15分	15時～17時	17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	3日	4日	0日	4日	4日	
	11月	12月	1月	計	20日	
	1日	2日	2日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	1～900名程度
		鑑賞人数目安	20～900名程度



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

体育館舞台とフロアを使用します。

【舞台設置に必要な面積】

フロア (間口：16m以上 奥行：9m以上)

ステージ上 (間口：8m程度 奥行：4m程度)

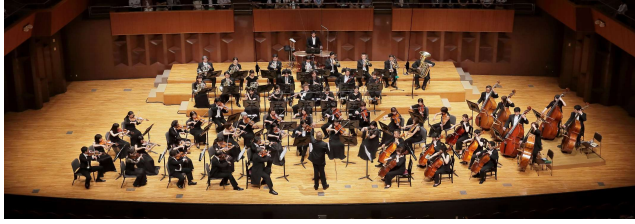
【その他】下記備品のご用意をお願いいたします。

- ・司会用マイク2本 (ワイヤレス)
- ・演奏者用パイプ椅子約110～120脚
- ・校内移動用のスリッパ約70足
- ・控室として、小部屋2室、大部屋2室 (男女各30～35名程度)

※採択決定後、編
組団体提出面等詳
細の提出をお願い
します。



公益財団法人
関西フィルハーモニー管弦楽団



音楽監督
首席指揮者
首席客演指揮者
桂冠名誉指揮者

オーギュスタン・デュメイ
藤岡 幸夫
鈴木 優人
故 飯守 泰次郎 (2023年8月没)

コンサートマスター
ギオルギ・バプアゼ★
木村 悦子★
赤松 由夏★

アシエイト・コンサートマスター
堀江 恵太★

第1ヴァイオリン
泉谷 更沙
高本 みわ
徳岡 裕紀
友永 健二
中野 緑
野口 まつの
松本 リカ
森本 一人

フルート
椎名 朋美◆
高橋 なつ美

ホルン
松田 信洋◆
長野 夏弥◆
林田 優惟
山本 直子

オーボエ
佛田 明希子◆
岩城 幾子

トランペット
池田 悠人◆
堀川 正浩

第2ヴァイオリン
増永 花恵◆
柏山 七海
齊藤 清
永井 利佳
西村 千奈美
平野 あずさ
村田 啓明

クラリネット
梅本 貴子◆
西峰 里美

ファゴット
星野 伸子

トロンボーン
松田 洋介

バス・トロンボーン
熊谷 和久

ヴィオラ
中島 悦子★
新居 知子
椎名 弘明
田代 直子
多田 素子
飛田 千寿子
山本 知資

チューバ
吉野 竜城◆

ティンパニ
中山 直音◆

パーカッション
角 武

チェロ
日野 俊介★
向井 航★
大町 剛
玉木 俊太
分藤 美紀子
安田 果穂

★特別契約奏者
◆トップ奏者

2023年9月現在

※正団員のみ記載。
実際の出演者名・出演
人数とは異なります。

コントラバス
猪飼 正代
大野 緑
小島 琳太郎
袖下 績
ポール・ウェール

【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	5人～900名 ※WS会場に対して人数が多い場合は、2回公演実施させていただきます。
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>各学校とのヒヤリングで、以下の①②の時間配分を調整しながら行います。例えば「90分全学年通し型」や、「前半45分は低学年、後半45分は高学年」、または、「45分はミニコンサート、45分は吹奏楽部や合唱部指導」など、各学校の要望に応じます。③は宿題としてお伝えいたします。</p> <p>①ミニコンサート型ワークショップ 弦楽器奏者・木管楽器奏者・金管楽器奏者・打楽器奏者から成る2名～5名のアンサンブルでの演奏を、トークを交えて楽しみながら聴いてもらいます。いずれの場合も、楽器の紹介や音の出る仕組みをわかりやすく説明しながら演奏します。説明の際は、プロジェクターを使用し、視覚的にもわかりやすい工夫をしながらそれぞれの楽器群の特徴や音の出る仕組みを事前に学習します。事前に学習をすることで本公演に向けての期待を高めます。また、「楽曲の紹介」「手拍子や打楽器演奏での共演」「質問コーナー」などのプログラムも取り入れた内容となっています。</p> <p>【企画例】 ♪デュオ演奏…ヴァイオリン1名、ピアノ1名でのデュオ演奏。 ♪弦楽四重奏 ♪木管五重奏 ♪金管五重奏 ♪混合五重奏…弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器奏者から成る5名でのアンサンブル。 ※上記アンサンブルは一例で、学校の要望に合わせて様々な編成での演奏が可能です。</p> <p>②本公演での共演に向けての演奏指導、楽器クリニックの実施 吹奏楽部や弦楽部の児童・生徒を対象とし、演奏指導を行います。指導経験の豊富な奏者が、実演を踏まえて指導することで、的確な実技指導が出来るように工夫しています。</p> <p>③グリーグ:「ペール・ギュント」第1組曲より“朝”を聴いてイメージを膨らませます 楽曲を聴いてどう感じたかな？正解はありません！一人一人の感性を大事に引き出せるよう、言葉や絵や色など具現化します。本公演までに1つの詩を作り、オーケストラに合わせて朗読します。それぞれの感性が本公演で一つの作品になることが楽しみであると伝えます。</p>   		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>本公演に向けてのオーケストラへの興味を高めることを目的とし、以下の点を重視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本公演をより楽しめる知識を、楽しく自然に獲得できる内容である。 ・共演に向けての指導により、児童・生徒が自発的にコンサートの準備をし、1度しかない共演の時間がより良い時間となる環境づくりをする。 ・プロの演奏家の生の音を届けることで、机上や映像にはない説得力をもって音楽の楽しさを伝える。 <p>楽器の説明や、作曲家の顔や国の背景を知ること、音楽がそれぞれどんな思いで作られたかなどの想像力を膨らませながら楽しめる工夫をします。また、手拍子などで参加することにより、一緒に奏でる喜びを体感してもらいます。本公演で音楽系クラブとの共演を予定している学校では、ワークショップの一環として実技指導を行います。全体指導とは別に、パートや個人ごとの実技指導をすることによって、演奏のレベル向上だけでなく、生徒と奏者のコミュニケーションを図ります。要望に応じて他の生徒の見学も可能です。ワークショップの実技指導をきっかけに合奏の楽しさに気づき、新たに入部する生徒もいるので効果的です。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>①ミニコンサート型ワークショップ 体育館もしくは音楽室にて行います。プロジェクター・ワイヤレスマイクのご用意をお願いいたします。場合によってはピアノの移動をお願いする場合がございます。</p> <p>②演奏指導、楽器クリニックの実施 放課後、部活動の時間に合わせて行います。重点的に指導を希望する曲やパートがあれば、事前にご相談ください</p> <p>③グリーグ:「ペール・ギュント」第1組曲より“朝”の朗読による共演 「詩」は一人ずつ考えたり、グループワークとして浮かんだ単語を繋げてひとつの詩を作るなど、方法は自由です。オーケストラとの共演の朗読も、選ばれた児童・生徒が一人で読むのでも、リレー形式で読むのでも自由です。その他、絵や色で表すなど、学校毎に先生とアイデアを出し合いながら、学校の特色や雰囲気をもとに目標をすり合わせ、当日の楽しみ方を具体的に決める作業をします。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 関西フィルハーモニー管弦楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>関西フィルハーモニー管弦楽団は、発足後一貫して音楽活動を通じて、多くの皆様に心の豊かさや安らぎを与えることに使命感を抱き、演奏活動に励んでいます。特に、青少年に向けての活動は、当楽団の重要な柱の一つです。また、地方都市を訪れた際には、地元の皆様との共演やコミュニケーションを重視した演奏会を通じて、地域での音楽文化の活性化に寄与しています。限られた人々のための娯楽ではなく、ファン裾野を広げることも主眼を置いています。長年にわたる数多くの青少年向け公演の経験を十二分に活かし、毎年全力でこの事業に取り組んでいます。</p> <p>プロオーケストラの生演奏を身近な環境で聴くことは子どもたちにとって貴重な機会であり、CDやDVDでは得られない生演奏ならではの迫力と感動体験があります。舞台芸術への関心を高め、豊かな心や感性を育むことができる、絶好の機会となるはず。また、音楽は総合的な要素が大きく、オーケストラを五感で楽しむのみならず、共演の中では自己を表現し、他者を認め、協調・協働したその先に、自他を肯定し豊かな心で音楽を楽しむことができるのではないかと考えます。楽員一同、誠意と誇りをもって次代を担う子どもたちに音楽の楽しさを届けられるよう、公演を行います。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p><u>1. 学校との綿密なコミュニケーションを図る。</u> これまでの楽団の経験を踏まえ、WS日程・本公演日程から逆算し、最適な時期にメール・電話等で学校側と常に連絡を取り、意思疎通を図り、誤解や失敗を防ぎます。WSや本公演についても、綿密な打ち合わせをし、要望に応えたオリジナルな公演が可能になります。</p> <p><u>2. 学校側の要望を出来る限り汲み取り、生徒のためになる方法を考え、実現する。</u> WSの際に、楽団担当者が学校の先生と本公演に向けて綿密な打ち合わせをする事で、学校にとって、また子供たちにとって一生の思い出に残る公演を実現します。</p> <p><u>3. 重要な内容に関しては、必ず文章にして送る。</u> WS日程、本公演日程、その他公演の進行に必要な事項に関しては、間違いが絶対起こってはならないので、文章にしてお知らせし、さらに後日の電話で確認を取ります。</p> <p><u>4. 公演当日タイムスケジュール等、分かりやすく記載したマニュアルを制作する。</u> 初めてオーケストラの公演を行う学校が多いので、公演に向けて準備して頂くことや、当日必要なもの、またタイムスケジュールに関して、当楽団オリジナルのマニュアルを作成しております。先生が一目見て分かるようにし、スムーズな流れで公演に入れるようにいたします。</p> <p><u>5. 最大限全生徒が楽しめるように、良いと思ったことは工夫し、実現する。</u> ひな段を組み、弦楽器と段差をつけることでオーケストラ全ての楽器が見える工夫を取り入れております。これによって目線の低い子供たちが各楽器の形状・音色の違いを視認し、演奏者の表情と息づかいを感じ取れるよう工夫しております。ひな段の設置によって音響的にも充実した迫力あるオーケストラサウンドによって、子供たちの心に残る公演としています。また、楽器紹介コーナーでは子どもたちの間近で紹介出来るよう、観客席の中央に通路を設け、よりオーケストラに親しみが湧く演出をしています。</p> <p><u>6. 子供たちとのコミュニケーションを積極的にとる。</u> WSと本公演、いずれにおいても子供たちとのコミュニケーションを重視しています。公演の中では、「ボディパーカッションで参加」「指揮者体験コーナー」「オーケストラ伴奏による校歌の合唱共演」等を取り入れる事により、子供たちが自ら積極的に公演に参加出来るよう工夫しています。公演の前後、学校到着から離校まで、楽団員一人一人が積極的に挨拶する等、交流を大切にしています。</p> <p><u>7. 公演当日のリハーサル</u> 公演当日には、必ずリハーサルの時間を設けております。共演曲を児童・生徒と共に練習をしたり、指揮者体験コーナーがある場合には、入場～演奏～退場といった一連の流れを体験して頂くことにより、本番に向けての準備をしっかりと整えております。</p>
--	--